

片品村 寄居山温泉センター 個別施設計画

【令和3年度から令和12年度】

片 品 村
むらづくり観光課

1. 計画の位置づけ

片品村寄居山温泉センター個別施設計画は、平成28年10月に策定された片品村公共施設等総合管理計画を上位計画とした個別インフラ長寿命化計画として位置付けられます。

2. 対象施設

本計画では、「寄居山温泉センター」の建物及び設備を対象とする。

3. 計画期間

本計画の期間は、令和3年4月から令和13年3月までの10年間とする。
なお、計画の内容については、5年ごとに見直しを行う。

4. 対策の優先順位の考え方

当該施設は村民に憩いとやすらぎの場を提供し、交流を促進し、地域づくりを推進するため設置された経緯があり、日帰り温泉施設として利用者の出入りが多くあることや、村外から訪れる観光客が多く利用するといった当該施設の特性を踏まえ、利用者の安全確保を最優先に考え修繕を行っていく。

次に、施設利用の継続性を考え、施設を利用するために必要な修繕を行っていく。

5. 個別施設の状態等

(1) 施設概要

1 名称	寄居山温泉センター
2 所在地	群馬県利根郡片品村大字鎌田 4078 番地 5
3 構造	鉄筋コンクリート造一部木造 平屋建て
4 敷地面積	680.15 m ²
5 建築面積	274.52 m ²
6 完成年度	平成3年度
7 施設内容	館内：浴室2・脱衣室2・ホール・お休み処・売店・フロント・玄関・事務室・機械室 館外：ウッドテラス・駐車場・貯湯タンク室

(2) 施設の状態

寄居山温泉センターは施設開設から約30年が経過しており、平成23年度に大規模改修を行った後、都度メンテナンスを行い破損箇所等の改修を行っている状況ではあるが、全体的に老朽化が進行しており、劣化がみられる。特に敷地内に埋設

されている水道管の老朽化が著しく、いたるところで漏水が発生するほか、温泉の設備部分は常に高温にさらされており、劣化が目立ってみられる。

建物としては、大規模改修以降は特に大きな損傷等もなく、軽微な修繕を必要とする程度である。

(3) 修繕等の状況

過去3年間の修繕等の状況は以下のとおりである。

年度	工事名
平成29年度	脱衣所床改修工事
	ボイラー補修工事
	ろ過ポンプ補修工事
	ラインポンプ補修工事
平成30年度	屋外給水管漏水補修工事
	温泉配管補修工事
令和元年度	屋外給水管漏水補修工事
	屋外給水管布設替工事
	ろ過器補修工事
	屋根雪止め設置工事

(4) 入館者数の推移

過去10年間の入館者数の推移は以下のとおりである。

年度	開館日数(日)	入館者数(人)	日平均入館者数(人)
平成22年度	335	18,028	54
平成23年度	216	25,753	119
平成24年度	343	38,117	111
平成25年度	338	39,080	116
平成26年度	339	38,970	115
平成27年度	339	35,982	106
平成28年度	336	35,434	105
平成29年度	334	34,559	103

平成 30 年度	339	36,616	108
令和元年度	335	38,564	115

6. 対策内容と実施時期

(1) 対策内容

寄居山温泉センターの改修は、施設の規模を考慮し、施設利用の継続性の観点から老朽化した箇所について必要最小限の改修としていくことが妥当であると考えられる。

なお、建物自体の劣化を防ぐための改修は計画的に行っていく。

(2) 実施時期

必要な都度実施する。

7. 対策費用

対策費用については、その都度算定する。